

西穂独標

Hiya

期 日：2021年8月3日(火)～4日(水) 概ね晴れ

コース：[3日] 帝国ホテル前 5:20→田代橋 5:30/6:00 →焼岳分岐 9:50→西穂山荘 10:10/40→丸山 11:20
→西穂独標 13:10/40→丸山 15:15→15:45 西穂山荘

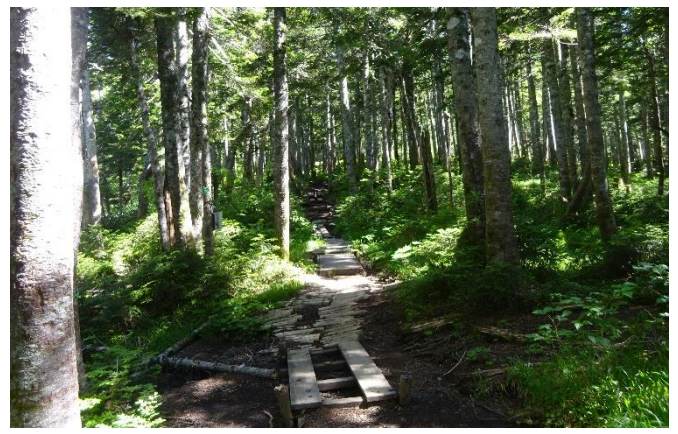
[4日] 西穂山荘 7:30→ロープウェイ駅 9:20/45～新穂高温泉 10:10/11:30～直通バスで松本へ

参加者：単独

2年振りに北アルプスを歩いた。今回は西穂周辺にした。上高地から西穂山荘まで900m登り、更に独標まで300m登る。下りは予定を変更しロープウェイ駅に下りた。



渋谷からの夜行バスは乗客3人。帝国ホテル前で降り、田代橋脇の休憩所で朝食。橋を渡ると西穂登山口の門があり、登山カードを投函、登山道に入る。



樹林帯の急登が続くが階段が設けられ、平坦部には木道・石畳もあり歩き易い。難所らしき所はない。



焼岳分岐に出ると西穂山荘はもうすぐ。山荘には予定より少し早く到着。宿泊受付は1時から。休息後独標に向う。上高地からの登山者少ないが山荘前にはロープウェイ駅から多くの登山者。



山荘脇の小山をひと登りすると森林限界の尾根に出て展望が開ける。右から二番目が独標。



なだらかな尾根道を行くと左手に丸山の標柱。笠から双六、鷲羽など裏銀座の山々まで望める。



丸山を過ぎると長い急登が始まる。上部で石の急斜面を左側に進む



独標の岩峰が姿を現す。岩壁と山頂には人影。



岩峰最後の登りはストックを納め、手を使って慎重に登る。



予定より少し遅れて山頂登頂。山頂は狭い。



登山者が次々に這い上がってくる



西穂高岳への道は相当厳しそうだ。



前穂岳には雲が。



登って来た登山道を今度は下りる。



細長く伸びる上高地と霞沢岳。



時折焼岳を見ながら下りる。
予定より遅れて山荘に入る。
パネルで仕切られた4人部屋。
定員制限中のためか混雑感はない。



翌日、新中尾峠まで縦走上高地に下りる予定だったが、前日の疲れ抜け切らず新穂高ロープウェイ駅に下りることにした。



山荘裏から樹林帯の急斜面を 200m 程下り暫く行くとロープウェイ駅。駅舎4階からの展望はすこぶる良い。



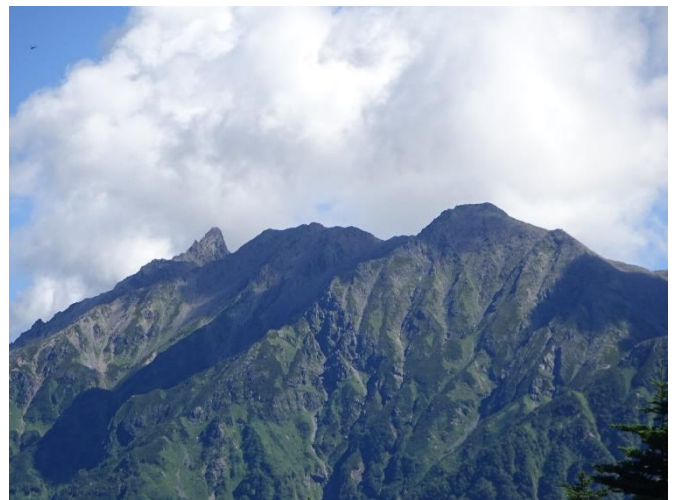
正面に笠ヶ岳



焼岳



穂高の山々



槍ヶ岳も

展望を楽しんだ後ロープウェイで新穂高温泉に降り、直通バスで松本へ向った。